

令和元年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価） 【全日制】

山形県立酒田西高等学校

〔1〕 校是

「裕かに 聡く 逞しく」

裕かに…自然や人とのふれあいを広げ、みずみずしい感性と思いやりのある広やかな心を養おう

聡く…自ら学ぶ意欲を育て、広い視野と探究心をもって、未来を創造する聡明な知恵を培おう

逞しく…主体的にスポーツ・文化活動に取り組み、逞しい意志と身体をもって、自己を切り拓こう

〔2〕 教育目標

個性を尊重し、徳・知・体の調和のとれた心豊かで逞しい人間を育成するとともに地域や社会の発展に貢献し、国際社会の中で信頼と尊敬を得る国民を育成するために次の目標掲げる。

- 1 感性豊かで思いやりのある人間を育成する
- 2 創造力と知性に富む人間を育成する
- 3 逞しく主体的に行動できる人間を育成する

〔3〕 教育方針

地域や社会の指導者としての資質の育成に努め、信頼される学校であり続けるために次の方針を立てる

- 1 礼儀と節度を重んじ、他人の立場に立ち責任ある行動ができる生徒の育成に努める
- 2 生徒自らが学び、考え、実践する能力を育成し、学力向上に努める
- 3 強い意志と健康な身体をもつ意欲的な生徒を育成し、進取の校風の確立に努める

〔4〕 目指す学校像

- 1 生徒一人ひとりが礼儀正しく他者を思いやる行動をする学校
- 2 生徒一人ひとりが自立した学習者となり主体的に学び合う学校
- 3 生徒一人ひとりが文武両道を追求する学校
- 4 特色ある教育活動を展開する学校
- 5 生徒一人ひとりの進路希望を実現させる学校
- 6 広い視野を持ち社会に貢献する学校

A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分

重点目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価
		評価	成果（○）と課題（＊）	意見・要望・評価等
主体的に学びに向かう意欲を喚起し、学力向上につなげる取組	① 生徒の学力状況・到達目標を踏まえ、指導と評価の一体化が図られた授業や学習活動の充実。	B	○探究学習と連動した主体的な学びや表現力・活用力を重視した授業改善の研修と推進を図った。 ＊授業や家庭学習など学習活動の充実を図るため、自己管理意識を高めた。 ＊探究学習の系統的な指導計画、システムの構築。	・探究活動など生徒が主体的に学ぶ機会がある。今後、さらに外部連携を図り、西高生が地域で活躍できる機会を増やしてほしい。
	② 表現力や活用力を重視した学習システムの推進。	C		
	③ 「裕かに（心を育てる）、聡く（思考力を鍛える）、逞しく（行動をうながす）」視点を取り入れた探究活動など思考・行動する学習の実践。	B		
	④ 毎日の家庭学習を充実させるため、学習課題の精選や時間にメリハリある部活動の実施。	B		
基本的生活習慣の確立と、特別活動等を自主的に実践し続ける力の育成	① 場面に応じ、自ら挨拶をする生徒の育成。	B	○挨拶をする生徒の増加。 ○主観的な活動をする生徒の出現。 ＊主体的に考え行動できる生徒の育成。 ＊部活動の任意加入の趣旨の理解の徹底と自主的な活動の推進。	・生徒会活動や部活動等、頑張っている。さらに生徒が主体的に活動できるよう支援し育ててほしい。
	② 清楚な装いと教室内外の整理整頓の徹底による学習環境の整備。	B		
	③ 自主的な生徒会活動、積極的な部活動など、特別活動等を通じた企画・実践力などの育成。	B		
キャリア教育の推進と進路指導の充実	① 大学、企業等の外部教育資源を活用した「高い志」の涵養と進路意識の醸成。	B	○多様な進路に対応した個別指導体制により、進路実現の向上。 ＊大学入試システムについての今後の動向を捉え迅速な対応。 ＊キャリア教育総合プログラムの構築 ＊外部教育資源を活用した探究活動の推進。	・多様な進路に対応した指導を行っている。また、それが西高の特色でもある。今後も生徒一人ひとりの進路達成に向け、進路指導の充実を図ってほしい。
	② 多様な進路希望、多様な入試制度に対応した組織的支援体制の充実。	B		
	③ 「高大接続改革」に伴う大学入試システム改革への遅れの無い情報収集と対応。	B		
	④ 進路実現に至るプロセス等の生徒保護者への丁寧な説明と情報の共有。	B		
心身の健康推進と安全安心な学校生活の実現	① 不登校等メンタルの課題に対する理解と組織的な支援活動の充実。	B	○特別教育支援委員会の迅速な対応。 ○いじめ調査アンケート後の迅速な対応。 ＊交通安全指導、SNS 等に関わる問題行動などの未然防止指導。	・落ち着いたきのある優しい生徒である。生徒が生き生きと活躍できることで、いじめ問題などの未然防止が図られる。
	② いじめ問題発覚時の迅速な対応、組織での情報共有や対応協議など、「抱えこまない」対応の実施	A		
	③ 生命を守ることを最優先とする危機管理、健康管理体制の点検と充実。健康診断結果などを活用した、生徒の健康自己管理能力の育成。	A		
開かれた学校づくりの推進	① 授業の公開や研究授業の推進、情報発信による開かれた学校づくりの推進。	C	○魅力あふれる学校づくり推進事業において外部との連携 ＊情報発信 ＊地域連携による教育活動の充実	・PR 不足。情報発信をすることと、生徒が地域と連携することを推進してほしい。
	② 教育資源に着目した地域社会との連携、各校種との連携による多層的な教育活動	B		
今後の学校の在り方の検討に向けた課題の整理	① 生徒数減及び新学習指導要領実施による教育課程に与える影響の整理。	B	○職員の各種研修会への参加。 ○校内研修会、グループ討議の推進。 ＊教育課程検討委員会の活動推進 ＊業務精選・削減推進	・生徒数、教員数の減員を見据え、教育課程や部活動などさらに検討が必要である。

令和元年度 実 践 目 標

A よくできた B ややできた C あまりできていない D まったくできていない

分掌	目 標	評価
1 年次	① 出席率99%以上、年間皆勤40人以上を目指す。	A
	② 成績優秀者（80.0以上）20名以上、欠点保有者5名以下を目指す。	B
	③ 外部模試偏差値56以上25名を目指す。	C
2 年次	① 出席率99%以上、年間皆勤50名以上を目指す。	A
	② 成績優秀者（80.0点以上）15名以上を目指す。	B
	③ 外部模試偏差値56以上20名以上を目指す。	B
3 年次	① 成績優良者（80.0点以上）30名以上を目指す。（H30:28名）	A
	② 出席率99.5%、年間皆勤者数75名以上を目指す。（H30:99.3%、年間皆勤78名）	B
	③ 志望進路実現100%を目指す。	B
教 務 課	① 生徒の主体的な学びを取り入れた授業研究を進め、50分授業の充実に取り組む。	B
	② 時間の管理、生活習慣の確立について意識化させ、学習時間の確保と質の向上を図る。	B
	③ 中学生及び保護者、家庭、地域への広報活動を充実させる。	B
	④ 図書館利用の活性化を図る。	B
生 徒 課	① 交通事故ゼロの達成。	B
	② 特別指導ゼロの達成。	B
	③ ロッカー・自転車の施錠率の向上（目標100%）。	B
	④ 上位大会への前年度以上の出場（部活動活発化）。	B
進 路 課	① 外部模試において、学校偏差値（平均偏差値）50以上を目指す。	B
	② 外部模試において、偏差値56以上の割合20%を目指す。	B
	③ 就職・公務員内定率100%を目指す。	B
	④ 国公立大合格者数35人以上を目指す。	B
総 務 課	① 年2回避難訓練（火災、地震・津波想定を含む）を実施し、職員の危機管理意識や生徒の防災意識を高める。	A
	② 「緊急事態発生時の初期対応マニュアル」の共通理解と徹底を図る。また、緊急時用の生徒・保護者・職員向けのメール連絡網を適切に運用する。	A
	③ PTA広報紙（年2回発行）、学校だより（年4回発行）、公式サイトの内容をさらに充実させ、本校の教育活動について広く紹介する。	A
保 健 課	① 年10回の「保健室通信」の発行や生徒保健委員会の活動を通して、自己健康管理への意識を高める。	B
	② 特別教育支援コーディネーターを中心にして、各年次・各課・各教科・SC・外部機関と連携しながら特別教育支援委員会の機能を充実させる。また、委員会と小委員会との役割を整理し、指導体制を整える。	B
	③ 日々の清掃活動や安全点検活動をとおり、整理整頓されて安心・安全な学習環境となるよう整備する。	B